

福島ぽかぽかプロジェクトの概要

福島市の中でも特に空間線量が高い状況が続く渡利地区。毎時2マイクロシーベルトを超える場所もたくさんあります。私たちはこれまで、署名や要請、政府交渉などにより、渡利地区の避難区域の指定や子ども・妊婦の早急な避難を求めてきましたが、国や市は「除染を徹底する」と言うばかりで住民の要請にこたえることはありませんでした。

「除染がはじまって効果があがるまで、せめて子どもたちを一時避難させて！」——。

こんな切実な声にこたえて、今年1月から「わたり土湯ぽかぽかプロジェクト」を開始しました。全国から寄付を募り、土湯温泉と土湯峠温泉郷の旅館に、渡利の親子や妊婦さんに格安で滞在してもらおうというものです。土湯温泉は、空間線量は毎時0.1~0.2マイクロシーベルトと低く、渡利の10分の1から20分の1です。プロジェクトは3月末で一旦終わり、のべ1600名以上の方々にご利用いただきました。一部旅館ですが、子ども向け折り紙教室、ジャンボ紙芝居、積み木教室、大人向け座談会なども実施し好評でした。

プロジェクト第2弾として、対象地域を福島市、伊達市、伊達郡に広げ、「福島ぽかぽかプロジェクト」として5月の連休明けより再開します。第二弾はぽかぽかセミナーを同時に開催します。健康管理や原発被災者支援法の動きを学習しながら、長期避難のきっかけとして、週末のリフレッシュ避難として、除染中の一時避難として、お気軽にご利用下さい。

まずは週末プランについて申し込みを開始します。平日の連泊プランについては、検討中ですので、みなさまのご希望をアンケートにてお知らせ下さい。よろしくお願ひします。

◆要 項

- ・対象：福島市・伊達市・伊達郡の町にお住まいの子ども・妊婦のいるご家族・グループ
- ・宿泊：（5月11日～6月30日までの金曜日または土曜日）
- ・申し込みはぽかぽかセミナーや説明会に参加された方を優先します。
- ・申込締切りは、宿泊日の2週間前とさせていただきます。1週間前までに予約の確認をさせていただきます。
- ・キャンセルや人数の変更はすぐにお知らせ下さい。2日前からキャンセル料が発生します。
- ・特別の料金設定とし、さらに自己負担金との差額は、全国からの寄付金で賄います。

大人	1泊2食	自己負担	3,000円	（寄付 4,000円、計 7,000円）
妊婦	1泊2食	自己負担	無料	（寄付 7,000円、計 7,000円）
中高生	1泊2食	自己負担	1,500円	（寄付 5,500円、計 7,000円）
子ども	1泊2食	自己負担	0円	（寄付 5,000円、計 5,000円）
- ・低料金でご提供するため、通常の宿泊の場合と比べて、食事の内容が異なります。布団の上げ下ろしは、各自でお願いします。浴衣やタオルなどのアメニティの準備はありませんのでご承知おきください。
- ・旅館までは各自、自家用車や路線バス等での移動をお願いします。福島駅発着の送迎バスが出る場合があります。

◆主催：ぽかぽかプロジェクト

渡利の子供たちを守る会 (save watari kids)、子どもたちを放射能から守る福島ネットワーク、福島老朽原発を考える会 (フクロウの会)、国際環境 NGO FoE Japan

事務局：Tel:080-6008-0808（出れない場合もあります。メッセージを残してください）

Fax:03-5225-7214

E-mail: pokapoka.watari@gmail.com